

# 第33回 うつのみやこども賞だより

平成28年度 3回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『てんからどどん』

魚住直子／著（ポプラ社）



～読んだ本の感想より～

- たまには、本の一しゅんだけだけど、人と入れかわるのもいいかなと思って、おもしろかった。
- 入れかわってからの、おたがいの生活が読んでいて、楽しかったです。
- かりんとりこの2人が、友達とのつきあい方を学ぶようでよかったと思いました。2人で協力したところもよかったです。
- 私もかりんになってみたいと思いました。
- ぜんぜんちがう二人がいれかわっておもしろかった。5人でおどっている所がよかった。

- 最後に5人でおどったダンスで、りこが「自分がんばった」と思っておどっていたところが、とても感動した。
- 主人公に共感できる所が多く、読んでいて楽しかったです。
- 雷で入れかわるといふ発想が斬新で、読んでいてあきなかった。

『サイコーのあいつとロックレボリューション』

牧野節子／著（国土社）

- 主人公のビートルズを好きという気持ちが、とても伝わってきました。所々でてくる曲の歌詞がとても良かったです。
- 光と暁の重なった声、聞いてみたいです。
- すごく「挑戦」がいっぱいあって、わくわくした。
- 体は弱いけど、歌が上手な光と、あきらの出合いが物語となっていて、良かった。物語の後が気になる。
- 結婚式の時、光がひいて歌っていた曲を、私も聞いてみたいなと思いました。

『白をつなぐ』

まはら三桃／著（小学館）

- 駅伝は、世代がちがっても、たすきで思いをつなぐいいスポーツだなと思いました。
- 1人1人のランナーが、テーマの白をつないで、大変なことものりこえていくところがすごいなと思いました。
- 大会に向けてがんばるすがたが、かっこよかった。
- たくさんの人の想いや思いがつながって駅伝というものは成り立っているということが知れた。
- 1区間1区間ごとに、選手の過去と走りが、うまくかかれていて、読みやすかった。
- 右回りは、どろぼうまわりなのに、はしらなかったのが、かんしんしました。

『ななこ姉ちゃん』

宮崎貞夫／著（学研プラス）

- しょう太、トンビのななこ姉ちゃんへの思いやりがとても感動しました。
- ななこ姉ちゃんの生活に比べると、僕たちはすごくめぐまれていると感じた。
- たいこをかつがせてもらえて、ななこはよかったなあと思った。
- ななこ姉ちゃんは、行動力があって、優しい人なんだなと思った。
- 人との関わりは、とても慎重にしなければならないと思った。
- 翔太とトンビがやさしくしてくれたり、ななこに悪気がないことが分かってよかったです。